

## 恵那アガルイ森づくり講演会

### スイスフォレスターが語る“自然に近い森づくり”のおはなし

「木が売れない…。山が荒れていく…」

森林・林業をめぐるのは、とかくクワイ話題の多い昨今。これからの森づくりは一体どうしたらいいのでしょうか？

欧州・スイスで始まっている“自然に近い森づくり”は、環境と経済を両立する持続可能な森づくりです。木材生産に加えて、豊かな水を育み、災害に強く、多様な生き物を養い、四季折々の変化が楽しめる多様性のある森。

そんな“アガルイ森づくり”の可能性を、スイスフォレスター（森林管理官）が語ります。

日 時：2017年6月24日（土）

9:30～12:00（9:00より受付開始）

会 場：中野方コミュニティセンター大会議室  
（恵那市中野方町 1802-1）

講 師：ロルフ・シュトリッカー氏（スイスフォレスター）  
※日本語通訳が付きます。

対 象：森林所有者、自伐林家、林業関係者ほか、  
これからの森づくりに関心をお持ちの皆様

定 員：60名

参加費：2,000円

申込み：**事前申込みが必要です。**裏面の申込書を FAX  
いただくか、必要事項を eメール等でお知らせ  
ください。**6月17日（土）締切。**

主 催：NPO 法人夕立山森林塾・NPO 法人近自然森づくり協会

協 力：中野方水源の森実行委員会

後 援：恵那市



▲講師のロルフ・シュトリッカー氏  
（プロフィール詳細は裏面参照）

■ 講師



**Rolf Stricker (ロルフ・シュトリッカー)さん**

スイス連邦チューリッヒ州バウマ村 (旧ヴィラ村/シュテルネンベルグ村) フォレスター

スイスのフォレスターは、スイス連邦が認定したフォレスター学位の取得者で、市町村の公務員であり、総合的な森林管理を行うコーディネーターである。その仕事は、地域の森林を管理経営するための計画立案、森林所有者との交渉、森林作業の発注、製材所との交渉など多岐にわたる。

人件費は日本の約2倍、日本と同様に急峻な地形、木材価格が低迷を続けるスイスにあっても、彼の担当区は黒字経営を続け、地域住民から厚い信頼を得ている。

林業にいち早くエコロジーの思想を持ち込み、環境貢献と林業経営の両立に20年以上にわたり取り組んでいる彼のことを、フォレスター仲間は「グリーン・フォレスター」と呼んでいる。

■ 通訳兼コーディネーター



**山脇 正俊 (やまわきまさとし) さん**

スイス近自然学研究所 代表

スイス連邦チューリッヒ州に39年在住。スイス連邦工科大学・チューリッヒ州立総合大学講師、近自然森づくり研究会特別顧問、環境・オーディオコンサルティング。スイスとドイツで1970年代に始まった環境と人間の豊かさの両立を追求する「近自然川づくり」に出会い、以降その思想を体系化した「近自然学」を確立。近自然学は川づくりのほか、道づくり、まちづくり、エネルギー利用、農業、林業、教育、ビジネス、社会システムなどの分野にも応用されている。2010年にはシュトリッカー氏と「近自然森づくり」の考え方を日本に紹介し、その普及を進めている。

FAX : 0573-25-7230 (NPO 法人夕立山森林塾 宛)

参加申込書 (6/24 スイスフォレスター講演会)

お名前		電話番号	
ご住所			
昼食	弁当 (お茶付き・¥700) → 必要 ・ 不要 (○をつけてください。)		

【お問合せ・お申し込み先】

NPO 法人夕立山森林塾 (担当: 岡田)

FAX : 0573-25-7230

電話 : 090-5860-4873 eメール : toshiokadawill@me.com